

## 新しいリーダーの考え方「受容思考」とは？

## ワンポイントレッスン

リーダーには「2分化思考」が求められる。「2分化思考」とは、正しい/間違っている、良い/悪い、敵/味方、白/黒、被害者/加害者、上/下、善/悪、などの、どちらかを選ぶ考え方である。いろいろな意見や考え方、価値観の中で、リードしていくためには、的確な2分化思考が必要なのだ。私は、この思考を「顕在意識の思考」とも呼んでいる。どちらかということ「考える」ことが主になっている。

それに対して、新しいリーダーの考え方として、「受容思考」を提案する。「受容思考」は、何でも受け入れる「思考」である。誰が正しいとか上だとか、被害者だとかという考え方ではなく、すべてが正しいとか、間違ってもいるとかいう2分化にしない思考なのだ。私は、この思考を「潜在意識の思考」とも呼んでいる。どちらかということ「考える」よりも「感じる」ことが主となっている。

組織を導く場合、1人の強力なリーダーシップも必要だが、一人の力には限界もある。「受容思考」は、「思考の枠」を広げることができる。すべての人の意見やアイデアも切り捨てないで、それらを考慮する。2分化思考が強いと、組織のメンバーは意見を出さなくなる傾向もある。責められるのを恐れるので、無口になる。2分化思考が強いと「犯人探し」が行われることもある。

「受容思考」は、メンバーのモチベーションを高める思考でもある。みんなが一つになって、大きな気付きが起こることも少なくない。なにより、メンバー一人一人が主体性を発揮することができる思考なのである。

さて、2分化思考も持ち、受容思考も持つリーダーが新しいリーダー像ではある。しかし、実は、2分化思考を持つ強いリーダーのヨコに、受容思考を持つビジネスコーチがいるという組織も成功する組織のあり方の一つである。戦国時代のリーダーにも、強力な2分化思考のリーダーのヨコに、「長老」と呼ばれる受容思考のリーダーがいたのだ。

「受容思考」を身に付けると、すごく楽になる。2分化思考のリーダーは、非常に大変で疲れるし、いつまでもゴールがないように感じるが、受容思考のリーダーは、受容思考になった瞬間に、なにか競争世界から離れるような、だれも批判しない、だれも嫌わない、非常に居心地のいい「心」になることができる。

これは、「禅」の世界でもあるらしい。「禅問答」というのは、論理的思考では決して解けないような矛盾や不合理を超えて、悟りが開かれることを意味する「受容思考」なのかもしれない。また最近では、「トランスパーソナル」という言葉も聴かれるようになってきた。ご興味のある方は、インターネットで「トランスパーソナル」で調べてみると、関連書籍や学会などの団体も知ることができる。

あのジャック・ウエルチをコーチしたことで有名な、世界一のビジネスコーチである「マーシャル・ゴールドスミス」氏のホームページを見ると、彼は座禅を組んでいるが、これも何か関係があるのではないかと思う。

( <http://www.marshallgoldsmithlibrary.com/> 参照 )